※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０３

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	世界史Ａ　新訂版　（実教出版）						
副教材等	世界史Ａ新訂版演習ノート　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史の時間軸を感じる。
・歴史的事象の因果関係を思考する姿勢を大切にする。
・歴史を背景とした現在の世界構造を読み解き、今後の国際社会の在り方を考える。

２　学習の到達目標

・様々な資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・今日の政治・経済システムを近現代の世界の歴史から読み解き、歴史的観点から現代の諸課題を考察することができる。
・世界の動向を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と教養を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、現代の国際社会に主体的に行き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄・流れを、地理的条件・日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 確認テスト
	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 内容のまとまり

※令和３年度以前入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 ※新学習指導要領における観点別学習状況の評価（３観点）を視野に入れ、部分的に取り入れ試行する。ただし、試行した内容は、現行の４観点に置き換えて評価する。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第Ⅰ部ユーラシアの諸文明と交流	序　文明のはじまり	○				a:諸地域の風土・生活・思想・文化・社会制度などに関心を高め、意欲的に追求するとともに、その地域の文明の特質について考えようとしている。 b:諸文明について、その形成と特質を考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:諸文明の風土・文化・制度などに関する資料を収集し、適切に活用している。 d:諸文明の特質を構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。	ワークシート 定期考査
		第1章　ユーラシの諸文明の特質						
		1. 西アジア世界・ユーラシア世界	○	○		○		
		2. ヨーロッパ世界	○		○	○		
		3. 南アジア世界・東南アジア世界		○		○		
		4. 東アジア世界・内陸アジア世界	○	○	○	○		
		第2章　ユーラシアの交流						
		1. 陸と海の交流	○	○		○		
		2. ヨーロッパ商業圏とモンゴル帝国	○		○	○		

※令和３年度以前入学生用

	2.一体化する世界と日本	第3章　一体化に向かう世界 1．世界の一体化の第一歩 2. ルネサンスと宗教改革 3. ヨーロッパの主権国家体制 第4章　アジアの繁栄と世界 1. アジアの繁栄 2. 世界経済体制の形成	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出やルネサンス、宗教改革などの動向と、新たなヨーロッパの枠組みとなった主権国家体制の形成について意欲的に考察している。 b:諸地域の特質から、世界商業の進展などに関連付けて考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:アジアの帝国、ヨーロッパ世界の社会・文化の特質や世界の拡大に関する諸資料を収集し、情報を適切に読み解く技能を身につけている。 d:16 世紀以降のヨーロッパ世界の動向、またアジア世界との交易とのかかわりと経済の成長と転換を把握し、その知識を身につけている。 知：十字軍以降のヨーロッパ世界が、ルネサンスや宗教改革を経て新たな海外進出を企てたことや、アジア世界に築かれていた中国やイスラムの帝国の特徴を諸資料から知識を身に着け、まとめている。 思：ヨーロッパの進出と、アジアの帝国の関係について世界商業の進展などに関連付けて考察し、その過程や結果を適切に考察し、説明ができる。 主：ヨーロッパに形成された主権国家体制と、その発展としての現代世界の国家体制との関わりを考察し、課題を説明できる。	レポート ワークシート 定期考査 確認テスト 小テスト ワークシート 定期考査 地図作業 レポート 定期考査 ワークシート レポート

※令和３年度以前入学生用

2学期	第Ⅲ部　近代のヨーロッパ・アメリカと世界の変動	第5章　19 世紀の世界の一体化と日本 1. 産業革命と工業化社会の成立 2. アメリカ独立戦争 3. フランス革命とナポレオン戦争 4. ウィーン体制とその崩壊 5. ヨーロッパ国民国家の発展 6. アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動 7. 東アジアの変容と日本の近代化	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:ヨーロッパ・アメリカでの政治的革命から、自由主義・ナショナリズムの台頭、アジア諸国内部で進行していた変化・変貌との関わりに対する関心を高め、意識的に追求するとともに、その特質について考えようとしている。 b:政治的革命・経済的革命を通した国民国家の形成により近代世界が確立したことを考察し、一連の思考の過程を適切に表現している。 c:18 世紀後半以降の諸地域世界の変貌に関する資料を収集し、適切な情報を読み取ったり図表にまとめている。 d:18 世紀後半以降のヨーロッパ世界の変貌と、アジア諸国への関わりを把握し、19 世紀の世界と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査 確認テスト
	第Ⅳ部　地球社会と日本	第6章　二つの世界大戦 1. 激変する社会と帝国主義 2. 第一次世界大戦と ロシア革命	○ ○	○ ○	○ 	○ ○	a:19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての欧米諸国や日本にみられた急激な社会の変化や、植民地化をめぐる競合と支配、大戦や国際秩序の変化を意欲的に追及し、平和の意義を考察している。 b:第一次世界大戦の原因と結果、さらなる社会の変化から引き起こされる第二次世界大戦への様相について、一連の過程を適切に表現している。 c:欧米諸国や日本にみられた社会の大衆化などの政治・文化の急激の変化から、第一次大戦後のアジア諸国での“民族自決”を求めたナショナリズムの動きに関する資料を収集、活用している。 d:19 世紀末から 20 世紀前半の、２つの大戦までの政治・社会・経済の変容、現代の戦争の特質、国際政治の流れや平和の意義について理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査 確認テスト

※令和３年度以前入学生用

3学期	第Ⅳ部　地球社会と日本	(2学期の続き) 第6章　二つの世界大戦 3. 戦間期のヨーロッパとアメリカ 4. 民族運動の高まり 5. 第二次世界大戦	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a:19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての欧米諸国や日本にみられた急激な社会の変化や、植民地化をめぐる競合と支配、大戦や国際秩序の変化を意欲的に追及し、平和の意義を考察している。 b:第一次世界大戦の原因と結果、さらなる社会の変化から引き起こされる第二次世界大戦への様相について、一連の過程を適切に表現している。 c:欧米諸国や日本にみられた社会の大衆化などの政治・文化の急激の変化から、第一次大戦後のアジア諸国での“民族自決”を求めたナショナリズムの動きに関する資料を収集、活用している。 d:19 世紀末から 20 世紀前半の、２つの大戦までの政治・社会・経済の変容、現代の戦争の特質、国際政治の流れや平和の意義について理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査 確認テスト レポート

※令和３年度以前入学生用

		第7章　第二次世界大戦と日本					a:第二次世界大戦後の冷戦構造や、アジア・アフリカ諸地域の民族運動、また冷戦終結後の世界の政治・経済の動向を通して、これまでの日本の立ち位置と、これからの国際社会に生きる日本人としての自覚を持とうとしている。 b:第二次世界大戦後の世界全体の政治・経済・思想の動向を把握し、これからの国際社会における日本の役割を、世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存するための方策を判断し、表現することができる。 c:政治的対立構造に関する資料に加え、経済における協調に関する資料などを収集し、現代の国際社会の構造と合わせてみた上で情報を選択し、活用する技能を身につけている。 d:第二次世界大戦以後の世界の構造の大きな変容について理解し、日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査 確認テスト レポート
		1. 冷たい戦争	○	○	○			
		2. アジア・アフリカ諸国の独立混乱	○	○		○		
		3. 多極化の進展と冷戦体制の崩壊	○	○	○	○		
		第8章　現代の世界						
		1. 統合へ向かうヨーロッパ	○	○	○	○		
		2. アメリカ・ラテンアメリカの動向	○	○		○		
		3. 西アジア・アフリカの混迷	○	○		○		
		4. 大国化する中国と東アジアの変動	○	○	○	○		
		終章　持続可能な世界をめざして						
		1. 巨大技術と人間	○	○		○		
		2. 人が人らしく生きるために	○	○		○		
		3. 環境問題と私たち	○	○	○	○		
		4. なお続く紛争	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。